

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「きらり」センター南校		
○保護者評価実施期間	2024年11月15日		～ 2024年12月15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16名	(回答者数) 11名
○従業者評価実施期間	2024年11月15日		～ 2024年12月15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数) 8名
○訪問先施設評価実施期間	2024年11月15日		～ 2024年12月15日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	16名	(回答者数) 14名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年2月15日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	通所支援を併用いただくことで、ご利用者様の課題により実践的なアプローチができます	訪問支援で見つけた課題に対して通所支援でアプローチしたり、通所支援で取り組んだ課題について訪問先の様子を確認したり、課題の調整や支援の見直しに役立てています。	PDCAを繰り返しながら、通所支援と訪問支援の相互作用を仕組みとしてブラッシュアップしていきたいと考えております。
2	保護者支援に力を入れており、関係各所とも密に情報共有しながら、最適な支援を考えることができます	これまでの通所支援で、保護者様と情報共有する仕組みが出来上がっておりますので、訪問先のご担当者様とも連携させていただき、ご要望に沿った支援を提供できるよう心がけております。	契約件数も増加しており、お話しする機会の調整が難しいこともありますが、コミュニケーション手段などを工夫して保護者様のご支援や関係機関連携にも力を入れていきたいと考えております。
3	チームアプローチができます	訪問支援は支援員1名(もしくは2名)の対応ではありますが、様々な背景を持った複数の指導員と意見交換をしながら最適な支援を考えられるような体制を取っております。	研修などで個々の力を高めていき、チーム力を向上させていきたいと考えております。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	訪問支援の実績を積み上げていく必要があると考えています	経験を多く積んでノウハウに落とし込み、対応力をつけて行く必要があると考えています。	訪問先ではきめ細やかな対応が必要となるため、訪問する指導員は固定化しがちではありますが、持続化可能性などを考慮しますと、複数の支援員が同程度の支援をできるように、体制を整える必要があると考えております。
2	月に2回程度の訪問支援をより有効な機会としていきたいです	訪問支援の増回のご要望や、回数を減らしてもよいのでは、とのご意見を頂くこともあり、ご要望だけでなく必要な支援の説明も丁寧に行う必要があると感じています。	研修の受講や支援の検証などから、より効果的な支援を検討、提案していきたいと考えております。
3			

公表

保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名 子どものサポート教室「きらり」センター南校

公表日 2025年 2月 15日

利用児童数 16名

回収数 11名

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いいない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。	5	0	0	6		現在のところ教具を使用してはございませんが、必要に応じて整えます。
	2 プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	10	1	0	0		訪問先にはございませんので、事業所にて対応させて頂いております。
	3 事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	11	0	0	0	学校での様子を具体的にまとめてくれて、そのうえでの支援をして頂いています。	訪問先での様子や活動の状況を丁寧にお伝えし、最終的な目的やその時々目的についてお話し、同意を頂けるようにしております。
	4 保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	11	0	0	0		必ず相談の上決定しております。
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思えますか。	11	0	0	0		状況に応じて職員を配置するようにしております。
	6 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	11	0	0	0	本人の理解の手助けを頂いています。	お子様の特性に応じた対応ができるよう、支援を評価して改善しながら対応しております。よりご満足いただけるよう質の向上に努めてまいります。
	7 こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	11	0	0	0	・客観的な視点を頂けることで、現状の理解ができ焦りや不安が和らぎます。 ・得意なことは褒めて苦手なことはサポート頂いています。	お子様の特性や、訪問先のニーズ、本人やご家族のご要望など、様々な視点から支援の方向性を検討しております。
	8 保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	10	0	0	1	学校の先生方とも連携を取って頂けて、共有できている安心感があります。	訪問先のご担当者様に十分にヒアリングした上で、計画を立てております。
	9 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	11	0	0	0		具体的にわかりやすい計画を作成できるよう心がけます。
	10 保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	11	0	0	0		支援計画を確認してから支援に臨んでいます。
保 護 者 へ の 説 明 等	11 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。	11	0	0	0		訪問先の環境や他児童に十分配慮して支援するよう細心の注意を払っております。
	12 事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	10	1	0	0		丁寧な説明を心がけております。
	13 「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	10	1	0	0		支援計画を確認いただきながらご説明するよう徹底いたします。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	3	2	0	6		支援の都度お話を機会を設けておりますが、研修会という形では実施できておりません。企画、ご提案したいと思います。
	15 必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況、課題について共通理解ができていると思いますか。	11	0	0	0	・状態の変化があってもお話を伺うことで安心できています。ありがとうございます。 ・訪問支援の様子など含め、本人の頑張りも共有頂いています。	共通理解が持てるよう、傾聴と丁寧な説明を心がけております。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	11	0	0	0	学校での様子や今の状態など、様々なこととお話して下さり、とてもありがたいと思っております。	支援の都度お話を機会を設けております。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	11	0	0	0	こどもの気持ちに寄り添って支援して頂いています。	共感的な態度を心がけて支援しております。
	18 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	11	0	0	0	本人の困っていることや悩んでいることなどをご相談した際には迅速に対応頂いています。	ご相談やお悩み事に対して、可能な限り迅速に対応できるよう心がけております。
19 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	11	0	0	0		SNSやお電話などを組み合わせて、ご利用者様に合った連絡方法で情報伝達できるよう工夫しております。	
20 事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	10	0	0	1	専門的なことや親が伝えにくいこどものよいところなどを学校に伝えて下さり、とてもありがたい。	訪問先とのやり取りなどは詳細にお伝えできるよう心がけております。	

	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	10	0	0	1		訪問先と連携し、支援の内容や方向性など打合せしております。
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	11	0	0	0	・口頭でも文章でも共有があり、いつも感謝の気持ちで一杯です。 ・支援内容をまとめてくれているのでわかりやすく助かっています。	記録を取り、支援の内容についてご確認を頂いております。
非常時等の対応	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	8	0	0	3		ホームページやSNSなどで活動内容をご紹介します。
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	9	0	0	2		当社の取り決めに従って、適切に個人情報を取り扱っております。個人情報同意書をご確認いただき、個人情報の取扱いについて事前に説明しております。
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	9	0	0	2		緊急時対応について、訪問先施設の対応を確認しております。内容については、ご利用者様にも発信いたします。
満足度	26	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	11	0	0	0		安全には十分に配慮して支援を実施していきます。
	27	子どもは訪問支援を嫌がっていませんか。	11	0	0	0	・いつも教室にいる先生が来て下さることで安心感につながっている様子です。 ・訪問支援を楽しみにしている様子や嬉しい気持ちも教えてくれます。	現在のところ嫌がる様子のご利用者様はいらっしゃいませんが、お子様の特性や保護者様のご要望に応じた対応を調整しております。
	28	事業所の支援に満足していますか。	11	0	0	0	・園に行き渋っている日も、訪問支援の日は楽しみに、安心して登園できています。 ・学校での様子や先生、お友達との関わりなどを共有できて満足しています。	ご利用者様や訪問先にとってよりご満足いただける支援ができるよう努めてまいります。

公表

訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名

公表日

2025年 2月 15日

こどもサポート教室「きらり」センター南校

訪問先数

16

2024年

2月

15日

回収数 14

チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1 訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	11	3	0	<ul style="list-style-type: none"> ・その時々でアドバイスを頂いている。 ・助言は中々頂けることがありません。 ・転入前の自動の様子など継続的な支援ができた。 ・集団指導の下で、個別指導をすぐ行うことができない時のアプローチ等。 ・具体的でわかりやすいが、集団生活に取り入れるには難しいことがあった。 ・助言を頂くことはあまりない。 ・机上の整理などどのように伝えればよいかを聞いてほしいが集中できるようになりました。 	訪問先ご担当者様とのコミュニケーションをより深めていけるよう心がけます。通所支援などの様子もお伝えし、情報交換しながらより有効な助言や、わかりやすい説明ができればと考えております。
2 訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	11	3	0	<ul style="list-style-type: none"> ・放デイの様子とあわせて支援方法を考えて頂いている。 ・見守りや本児と一緒に遊ぶことが多いのでどういった支援をされているのかわかりにくいところがあります。 ・声掛けのタイミング等具体的なことを教えてください。 ・どのような狙いを持ってごどもと関わっているか知らせていただき、園での保育の参考になっている。 	今後も知識や技術の向上に努め、よりよい支援を提供していきたいと考えております。未熟な部分もございますので、お気づきのことなどございましたらぜひご教示いただければと思います。
3 訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	14	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・相談する機会が設けられず、訪問の際に話ができてありがたい。 ・振り返りした際に本児の様子を細かく教えてください。 ・保育中や話せるタイミングに伝えてくださいます。 ・園で困っていることを説明したり、様子を聞く丁寧な態度で答えて下さる。 	時間や連絡手段を工夫して、ご都合の良いタイミングで、できるだけ多くお話しする機会を設けたいと考えております。
4 保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	8	5	1	<ul style="list-style-type: none"> ・時間をかけて少しずつ困りごとなどが解消されるものと思っています。 ・課題が明確ではなく、目指すところの共有ができていなかったためあまり変わらない。 ・また1か月半のため。 ・担当園児の成長を共感できて非常に良かったです。 ・よい方法が見つからずすぐに解決することではない。 ・保護者の話を共有できていて本児にとって良いと思います。 ・鼻をほじるくせや困っているときの特徴を教えてください。 ・意識して声掛けしたり見たりできるようになりました。 	ご利用者様のご要望や訪問の目的を含め、関係先が同じ方向を向けるよう、丁寧な説明とご理解いただく努力が必要であると考えております。訪問先の皆様からもご助言等頂きながら、よりよい支援が提供できるよう尽力いたします。
5 事業所からの支援に満足していますか。	13	1	0	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな視点から見ることができてありがたいです。 ・本児に対して信頼感や安心感があります。活動に取り組んでいるので感謝しています。 ・他施設でのごどもの様子の共有ができるのはうれしいが、頻度が多く感じる。 	支援の方向性や訪問頻度など、ご利用者様のご要望と訪問先ご担当者様のご要望をよくヒアリングした上で、お子様に最適な支援を提供していきたいと考えております。
その他のご意見	ご意見を踏まえた対応				
<ul style="list-style-type: none"> ・訪問頂いた際にお話を頂きますが、レポートなどの形で頂けると他の教員とも共有しやすいので、可能であれば書面で頂けると大変ありがたいです。 ・きらりさんの訪問支援の意図をよく理解できておらず申し訳ありませんでした。年度始めに引継ぎをしっかりしておくとともに、打合せの時間を取らせていただきたいと思います。今後ともよろしくお願いたします。 ・本児の今月の目標やねらいを教えてください。園でも参考にして関わり方を考えられると思う。一緒に同じ方向を向いて支援できたらいいなと思いました。ありがとうございます。 ・月2回訪問支援を受けて、園児の成長を共有できたり、担任の保育日誌を提供し日々の様子を伝えてます。徐々に自らの力で困難に対してやってみようという行動が見られますので、諦めないで行う姿を褒めていきたいと思ひます。他児の気持ちもともに伝えること心がけています。 ・情報共有や子どもへの声掛けなどの支援をいつもありがとうございます。 ・この用紙に施設名、記入社名、児童名を記入する欄を作った方が、整理しやすいと思ひます。 ・月2回の訪問支援により、リアルタイムで当該園児の対応について困っていることが解消されております。また保護者への対応に関しても様子等共有させて頂いておりますので大変満足しております。今後ともよろしくお願いたします。 ・様子について月1回だとあまり変化がなかったりするので、3か月に1回ぐらいの訪問回数でもよいのではと感じました。 ・お子さんによって訪問回数や方法は変わると思ひますが、せつかくのきらりさんと保育園との連携をもっと就航なものにするためもっと情報共有出来たらうれしいです。 ・定期的に学校に来ていただき、見て頂き、心強く思っております。本児と保護者が外部とのつながりを持つことができ、つないでくださったことをごちさも嬉しく思っております。訪問の目的やゴールをもう少し明確にしていけると、助言や課題の解消へつながっていくのかなと思ひました。 ・いつもありがとうございます。30人近く見ているため、どんなことに困っていてどんな手立てが児童のために考える余裕もなかったのですが、具体的な支援策やその子の特徴を伝えて下さったので、一人の時にも活かせました。また授業中に対象児童のサポートをして下さるのかとても助かっています。今後ともよろしくお願いたします。 	<p>貴重なご意見の数々をありがとうございます。</p> <p>おひとつおひとつのご意見にお応えすることは難しいのですが、ご指摘事項も含めまして多くのご関係者様に丁寧なご意見を頂戴できることが非常にありがたいと感じております。</p> <p>弊所では保育所等訪問支援のサービス提供を昨年度より開始したばかりで、まだまだサービスの質を向上させていく必要があると感じております。</p> <p>大変微力ではあるのですが、少しでもお困り感が軽減できるよう、関係各所に密にコミュニケーションを取りながらよりよい支援を提供したいと考えております。</p>				

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		こどもサポート教室「きらり」センター南校		公表日		2025年 2月 15日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など	課題や改善すべき点	
環境・整備	1	訪問支援に使用する場合の教員教材は適切であるか。	○		支援の中で、特に教具を使用するケースはございませんでした。	訪問支援について理解を深め、よりよい支援ができるよう多様な支援の在り方を考えていきます。	
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		適切であると考えております。	必要に応じて多職種の連携なども検討いたします。通所支援の人員も鑑みて、ゆとりのある人員配置を検討していきます。	
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		訪問支援だけでなく、通所支援の様子も併せて、広く職員が参画しております。		
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		定期的にお話する機会を設けております。	よりコミュニケーションを密にして業務改善につなげていきたいと考えております。	
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		常に情報交換しながら、業務改善にもつなげております。	広く意見を集められるようコミュニケーション手段を見直し、工夫していきたいと考えております。	
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	第三者評価を利用しておりません。	法人全体で協議し、検討していきたいと考えております。	
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		研修の機会がございませんでした。ガイドラインを読み込み、適切な支援を心がけました。	法人内でもサービス提供実績が少なく、研修実施には至りませんでした。外部研修の利用も含めて検討したいと考えております。	
適切な支援の提供	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	○		ニーズや課題を客観的に分析した上で、訪問先のお話も伺いつつ、支援計画を作成しております。		
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		職員全員の意見を参考にしつつ、共通理解の下で計画を作成できるよう心がけております。	よりご利用者様の利益になるように、支援計画の質を上げていきたいと考えております。	
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	○		訪問先の担当者様のご意向とご利用者様のご意向も踏まえて、計画を作成できるよう調整しております。		
	11	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		支援前に計画を確認してから支援に当たるよう心がけております。		
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		標準化されたツールを用いてアセスメントを行っております。行動観察や関係者へのヒアリングなどからもお子様の理解につなげております。	広く職員がわかりやすいツールがあると良いと思います。	
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的な内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	○		ガイドラインを踏まえ具体的な支援内容を設定できるよう心がけております。	ご利用者様の環境や特性に合わせて、より効果的な支援ができるよう努力いたします。	
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		計画は職員全員で共有され、計画に沿った支援を行っております。		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		当日の打合せはできませんが、事前に情報共有や支援内容や目的などを確認して支援に当たります。	今のところ、支援は概ね職員1名で行われます。支援は午前中に行われ、担当職員は訪問先に直行いたします。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		支援後は情報共有を行い、振り返りや次回の課題、通所支援でアプローチできる課題などを検討しております。		
17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	○		訪問先に合わせた支援を提供し、訪問先のご担当者様とフィードバック仕合いながら、支援の仕方を修正することもございます。	複数ある訪問先で細やかな気配りが必要になることから、支援員が固定化されがちになるところに課題感を感じております。		
18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	○		毎回記録を取り、改善に繋げております。訪問先の担当者様と情報共有ができるよう、当日の様子を振り返るミーティングを設定させていただいております。			

関係機関や保護者との連携	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		定期的に保護者や訪問先の意向を確認し、計画の適切な見直しを行っております。	
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		担当者会議を行う際は、必要と考えられる方に参加頂くよう調整しております。	
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		多方面で連携する必要があると考え、ご利用者様に提案したり、関係機関と連携しております。	社会資源などのリソースをさらによく把握して、ご利用者様に最適な体制を整えていきたいと考えております。
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		移行支援に力を入れ、お子様の環境調整をサポートしております。	
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	○		外部研修の実績はございませんが、法人内で情報交換をしたり、理解を深めております。	参加可能な研修が少なく、研修実施についての情報収集に努めたいと考えております。
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	○		保育所等訪問支援サービスが対象の部会がありましたら、可能な限り参加できるよう業務を調整します。	放課後等デイサービスや児童発達支援のみを対象とした部会の開催となっております。
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		支援の都度保護者さまと情報共有を行って、共通理解を持てるよう心がけております。	通所支援と併用されている利用者様が多く、お会いできるタイミングでお話いたしますので、お時間を取らせてしまうケースが多くあります。
保護者等への説明等	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		ケース会議や合理的配慮について情報提供を行っております。	訪問先やご家庭、事業所での、約束事や対応について足並みをそろえられるよう調整する必要があるケースもございます。
	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		丁寧な説明を心がけております。	
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	○		ご利用者様のご要望からスタートしますので、訪問先へは丁寧な説明とご理解が必要と考えております。	訪問支援についての有効性や活用方法をより深く認識頂けるように、訪問支援の普及を望んでおります。
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		将来を見据えながら、お子様やご利用者様のお困りごとが減るように、方々からの情報をもとに支援計画を作成するよう心がけております。	6か月に1度以上計画の変更はありますが、適宜修正できるよう、より密に関係先とコミュニケーションを取り合っていきたいと考えております。
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	○		説明の上同意を頂いております。	訪問先での子どもの状況や当事業所の活動内容がわからないということがないように、日々のコミュニケーションを大切にしていきたいと考えております。
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	○		家族支援加算サービスのご利用をお勧めするなどして、じっくりお話を伺う機会を設けております。	ご利用者様からお声掛けいただくことが難しいケースもありますので、こちらからも定期的にお困りごとなどをヒアリングする必要があると考えております。
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		保護者会を企画し検討段階ではあるものの、実施には至っておりません。	保護者同士の交流や、個別ではなく事業所からの情報をお伝えする機会も持たせたいと考えています。
訪問先施設への	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		ご利用者様が相談や連携のサービスがご利用いただけることをお伝えしており、私どもから提案させていただくケースもございます。常に家族支援などのご要望に対応できるよう準備をしております。	ご要望がない場合にもご利用者様の状況やお困り感を伺える関係性の構築を強化していきたいと考えております。
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		ブログやインスタグラムを通じて、定期的に情報を発信しております。	内容をより充実させたり、更新頻度を上げるなどして、ご利用者様の安心感や満足度の向上につなげていければと考えております。
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		弊社の取り決めに従って、十分留意して取り扱っております。	研修などに参加したり企画するなどして、情報を更新しながら意識を高めていきたいと考えております。
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		ご利用者様お一人お一人に合った情報伝達手段を活用するよう心がけております。	
	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	○		訪問先と定期的にお話する機会を持ち、ご相談事などあれば伺っております。	より訪問先に合った助言や支援が提供できるよう、支援の質を高めていきたいと考えております。
訪問先施設への	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	○		支援後に訪問先のご担当者様とお話する機会を持っております。	訪問先ご担当者様の状況も伺って、ご負担にならないような時間帯や連絡手段を検討して調整しております。
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	○		記録を記入しご確認いただいております。その他、情報共有に努めております。	

説明等	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○	弊社の取り決めに従って、十分留意して取り扱っております。	研修などに参加したり企画するなどして、情報を更新しながら意識を高めていきたいと考えております。
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	○	訪問先の担当者様のご意見も頂戴しながら、私どもの視点からのご意見をお伝えしております。	逆に訪問先のご担当者様から助言を頂くこともありますが、私たちも勉強させていただきながらではありますが、よりよい支援を提供したいと考えております。
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○	各種マニュアルを策定し、周知や研修を実施しております。	家族等に周知して万全な体制を取れるようにいたします。
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○	必要な研修や訓練を行っております。	
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○	対策も含めヒヤリハット事例を職員の間で共有して、再発防止に努めるとともに、支援や環境調整などにも活かせるように努めております。	より積極的にヒヤリハット事例を集める努力が必要と考えております。
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○	虐待防止のために必要な研修に参加し、虐待防止に向けた対策を話し合っております。	
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○	身体拘束の適正化については、こども家庭庁のガイドラインに沿って運営し、必要な場合には必ず個別支援計画に記載するようにしております。	これまで身体拘束を適用するケースはありませんが、必要なケースを想定して対応を準備してまいります。